

巻頭言

グローバル化した世界における市民社会と学問の架橋を目指して

稲葉奈々子・下川雅嗣

グローバル・コンサーン研究所（IGC）が発足して、10年目を迎える節目の年に、研究所のジャーナル『グローバル・コンサーン』発行がついに実現の運びとなった。

IGCは、「上智大学の建学精神に基づいて、人間の尊厳と連帯を脅かすようなさまざまな問題をグローバルな視点から研究し、その成果をもって学生や社会に意識化の場を提供し、さらには変革のための実践を通じて世界のひとびとの尊厳と連帯を実現する人材を育成する」ことを目標とし、前身の「社会正義研究所」を改組して2010年に発足した。

IGCでは、従来の社会正義研究所と比して以下の2点が強調され、改組・名称変更はそのことを明らかにする効果があった。

①1980年代以降、特にグローバル化、経済のグローバル化が急激に進展し、さらにグローバル化による様々なネガティブな側面として、貧困・排除・格差・暴力が、日本を含めた全世界で拡大してきている。この負の側面を明らかにし、グローバルな視点からの対抗の可能性を模索する活動を行う。

②国家や国際機関や多国籍企業などの「力」によるグローバル化、所謂上からの視点ではなく、高みに立って施しをするのでも象牙の塔に閉じこもるのでもなく、地域に根差した人々の主体性や尊厳に向き合い、人間や共同体相互の連帯をともめた活動を行う。

そして、IGCに改組するに至る、社会正義研究所の最後の数年は、名称を「グローバル・コンサーン」へと変更に迫るような、象徴的な出来事が続いた。ひとつには2008年末、米国に端を発し、世界規模で経済危機を引き起こしたリーマン・ショックの影響が大きい。2008年末から2009年初頭にかけて、仕事と住む場所を失った派遣労働者に、一時避難所と食事を提供すべく、日比谷公園に「派遣村」が開設され、約300人の派遣労働者と、その10倍の支援者が集まった。それまで、遠い外国の出来事であるかのように認識されていた貧困問題が、足元の日本に疑いようもなく存在することを、突きつけられる出来事であった。社会正義研究所は、日本の野宿者の問題をテーマとしたシンポジウムを企画してきたが、日本だけではなく、海外のホームレスや反貧困の社会運動の担い手との議論は、IGCにおいても、国境を越えた実践として引き継がれている。

改組後の2011年3月の東日本大震災と原発事故は、国境を越えた影響を及ぼし、現在も終わっていない。IGCも震災や原発をテーマとし、継続的な課題として取り組んでいる。また、原発事故もいまだ収束しないにもかかわらず、2013年9月には、五輪の東京開催が決定した。このグローバルなメガイベントの影の部分に光をあてる活動を行ってきた。

また毎年、国際基督教大学社会科学研究所との共催で、国際シンポジウムを行っている。このうちIGCが中心となって企画したシンポジウムのテーマには「グローバル化の中の大学」「グローバル化時代におけるデモクラシー」「グローバル化時代における食と農の問題」「学力のグローバル・スタンダード」などがある。

これらIGCが10年にわたって扱ってきたテーマを振り返ってみるなら、グローバリズムに抵抗する民衆の営みをテーマとしたものが多かったと言える。グローバル化は、冷戦終結と社会主義国家が崩壊していった結果、「資本主義の勝利」が喧伝され、市場経済至上主義が世界規模で広げられていくプロセスでもあった。そうしたプロセスへの異議申し立ての声がかき消されないように、研究だけではなく、実践につなげていく試みを行ってきた。

しかし、東アジアの場合、いまだ冷戦が終わっていないこともあり、単純に「反グローバリズム運動」として市民社会の取り組みを括することは、当然のことながらできない。特に在日コリアン、女性、障害者などマイノリティをめぐる問題は、「グローバリズム」により一様に影響を被ったと言ってしまうには、あまりに歴史に深く根差しており、固有の問題としてアプローチする必要がある。とはいえ、そうした歴史性を考慮しながら、マイノリティの問題を、国境を越えた対話が成立しうる波及力のある議論の枠組みを提供すべく、IGCでは企画を実施してきた。

IGCは、市民社会と学問の架橋のために、発足以降、世界各地の社会運動の担い手をゲストとして招いてきた。単に外国の社会問題を日本に紹介することにとどまらず、いずれも日本の現実と構造的に深いところで結びついていることをえぐりだすような議論の枠組みを提示できたと自負している。

グローバル化には、ネガティブな要素も多いが、30年前にはありえなかったような、国境を越えた市民や学問の密な交流が可能になったのも事実であり、このポジティブな要素を最大限生かした活動を、IGCでは今後も続けていきたい。

稲葉奈々子（上智大学総合グローバル学部教授・グローバル・コンサーン研究所所長）

下川雅嗣（上智大学総合グローバル学部教授・グローバル・コンサーン研究所副所長）